



# 高德寺だより

令和6年3月10日 149号  
曹洞宗 高德寺  
TEL 0238-42-2859



## けいざんぜんじ 本年は瑩山禪師様 700 回忌を迎えます



写真は横浜鶴見・大本山總持寺 大祖堂(だいそどう)

◆早春3月を迎えました。ここ数年で記憶がないほどの暖冬を過ごしましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年は新年早々に、思いもよらない能登半島の大地震が発生し不安な年明けとなってしまいました。多くの命が失われましたこと大変痛ましく心から哀悼の思いを捧げたいと存じます。また、被災された皆様の回復と早期復興をご祈念申し上げます。さて、御年始会でも申し上げましたが本年は標記のように「大本山總持寺御開山・瑩山禪師様の700回大遠忌」を迎えます。ご承知の方もいると思いますが、そもそも總持寺というご本山は元来、能登・輪島市に建立されており、明治の終わりに現在地に移ってまいりました。能登の總持寺は「祖院(そいん)」として位置づけられ長い歴史を継承し人々の拠り処として今日まで参りましたが、今般の大地震にて壊滅的な被害を受けてしまいました。まだまだ現状把握には及ばず今後の対応も不明なままですが、復興に向けて少しでも前に進むことを切に祈るばかりです。

また、この4月からは鶴見の大本山總持寺に於いて、700回忌の記念事業と大法要が務められます。震災の影響など大変複雑な思いはありますが、瑩山禪師のご遺徳に報いるべく粛々と行事が努められればと念ずるばかりです。申すべくもなく、瑩山様は曹洞宗を開かれた道元禪師様のみ教えを全国に広められ、展開する偉業を残されました。即ち、今日の宗門の礎をしっかりと築いて下さったお陰でお釈迦様のみ教えを頂くことが出来るのであります。その喜びに改めて感謝申し上げます。本年はそのご縁に因み別紙のようにご本山参りも計画されております。この機会是非にご参加いただきますよう心よりご案内申し上げます。

# 能登半島地震義援金托鉢が行われました

〇今般の能登半島地震を受け、去る1月下旬より3週にわたり南陽・白鷹・米沢地区に於いて義援金托鉢が行われました。13年前の東日本大震災を機に、置賜地区の曹洞宗寺院で若い僧侶を中心に組織された「Team おきたま」による活動はその後も継続的な支援活動を展開しております。最近では、令和4年に発生した置賜地域の線状降水帯による集中豪雨災害等の自然災害に於いても、復興支援に尽力をそそいでまいりました。この度の能登半島地震を受け「今、私たちに出来ることは何か」をスローガンのもと、会員一同にて寒中托鉢を行じ被災地へ思いを寄せながら地域の皆様にご協力を頂きました。一年で最も寒い時期ではありましたが、各地のスーパーマーケットの店頭等にてお声掛けさせていただき、思った以上の善意とご協力を賜り皆様の関心の高さを実感いたしました。この度は住職と風雅和尚と2名にて参加し、支援の輪が広がることもお願い申し上げました。



義援金は順次被災地へお届けしております。

曹洞宗の各寺院様に於いても活動は継続しておりますので今後ともご協力の程お願い申し上げます。

## ご案内とお知らせ

〇別紙の如く本年の大般若法要は4月14日(日)

午前10時30分より執り行います。コロナ禍により参加を控えておられた方も、是非にお出かけいただきたいと思っております。きっと高德寺境内



の桜も見ごろになるのではないかと期待しております。家族連れで是非にお出かけ下さいますようお願い申し上げます。また、御法事の張り出し札もご確認頂きご親族共にご法事の予定を立てて頂きますようお願い申し上げます。

の張り出し札もご確認頂きご親族共にご法事の予定を立てて頂きますようお願い申し上げます。

◇この4月より弟子(長男)風雅が曹洞宗宗務庁(東京)に拠点を置くことになりました。宗務庁とは全国の曹洞宗寺院を包括する行政機関であり、若い僧侶の教育機関でもあります。この程、研修生として採用される試験が通り、宗務庁はじめ駒澤大学、ご本山等にて3年間、座学や研修を受けることになりました。(曹洞宗総合研修センターで検索できます)その間、高德寺と東京の行き来が伴うかと思いますが、本人の志を皆さんにもご支援頂き、成長を支えていただければ幸いです。何卒ご理解の程よろしくようお願い申し上げます。合掌

